



T68

人工グラファイトシート

REACH Compliant RoHS Compliant

製品特長

- ・ 高い熱伝導性
- ・ 導電性
- ・ 電磁波対策
- ・ 軽量、超薄、低環境負荷
- ・ 低熱抵抗

応用範囲

Suitable for products requiring flat temperature

Electronic Components - 5G, Aerospace, AI, AIoT, AR/VR/MR/XR, Automotive, Consumer Devices, Datacom, Electric Vehicle, Electronic Products, Energy Storage, Industrial, Lighting Equipment, Medical, Military, Netcom, Panel, Power Electronics, Robot, Servers, Smart Home, Telecom, etc.

製品物性

製品物性	単位	T68	公差	試験基準
熱伝導率 (XY axis)	W/m・K	1500	±100	AC Calorimeter
熱伝導率 (Z axis)	W/m・K	5	±10%	Laser Flash
厚さ	μm	25	-	Micrometer
熱拡散率	cm ² /s	8.5	±0.5	AC Calorimeter
密度	g/cm ³	2.1	±5%	Archimedes Law
導電率	S/cm	>13000	-	JIS K7194
曲げテスト	times	10000	-	-
使用温度範囲	°C	-40~+400	-	AC Calorimeter
熱容量	J/g-K	0.895	-	-

タイプ	T68	T68A	T68AP	T68APF
加工方式	加工しない	下側に 10um/30um の両面テープをつける	1. 上側に 10um/30um の PET テープをつける 2. 下側に 10um/30um の両面テープをつける	1. 上側に 10um/30um の PET テープをつける 2. 下側に 10um/30um の両面テープをつける 3. パウチ加工
構造	グラファイトシート	グラファイトシート 両面テープ 剥離紙	PET テープ グラファイトシート 両面テープ 剥離紙	PET テープ グラファイトシート 両面テープ 剥離紙
特長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高い熱伝導率 ・ 柔軟性 ・ 導電性 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 粘着で固定可能 ・ 粘着テープ耐電圧 1KV ・ 粘着テープの厚さを選択可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 粘着で固定可能 ・ PET テープ耐電圧 1KV ・ 両面テープ耐電圧 1KV ・ PET と両面テープの厚さを選択可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 粘着で固定可能 ・ PET テープ耐電圧 1KV ・ 両面テープ耐電圧 1KV ・ PET と両面テープの厚さを選択可能
耐熱温度	400°C	100°C	80~100°C	80~100°C
厚さ	25μm	35μm/55μm	45μm/85μm	45μm/85μm

※ ご依頼の寸法と形に応じ、形抜きまでもカットできる。

T- グローバルテクノロジー株式会社

台湾 330058 桃園市桃園区大仁路 50 巷 33 号

T +886-3-361-8899 E service@tglobalcorp.com W www.tglobalcorp.com

Version19
20240226



注意：本技術からのデータ情報は t-global からの研究や検査により出てきた最も良い結果です。データ上の数は典型的な数字で、各バッチ製品を検査することではありません。もしスペックが変更されたら、別に通知することはありません。製品の効能に影響を与えられない保護フィルムが剥離紙と保護フィルムは製品の効率に影響を与えられませんが、特別な要望がなければ、t-global の評価を基準にします。各種の可能な使用条件が弊社のコントロールできる範囲を超えることで、弊社は提出させていただきましたアドバイスは何の保証や責任が生じることがありません。ですので、お客様は製品を試しながら、弊社の製品が各種の条件で応用できるかどうかご確認ください。本製品を売買する時には何か特定のところで応用できることを保証することがありません。但し、本製品が t-global とお互いに確認した invoice、お見積りやご注文に基づき、基準的な品質を提供させていただきます。我々は使用者がどのように本技術からのデータ情報を使うことに責任を持ちません。一方、本技術から生み出されたデータ情報は説明内容や製品に関する用途、未来特許衝突、工芸製造や製品の使用についてのアドバイスなどが含まれておりません。